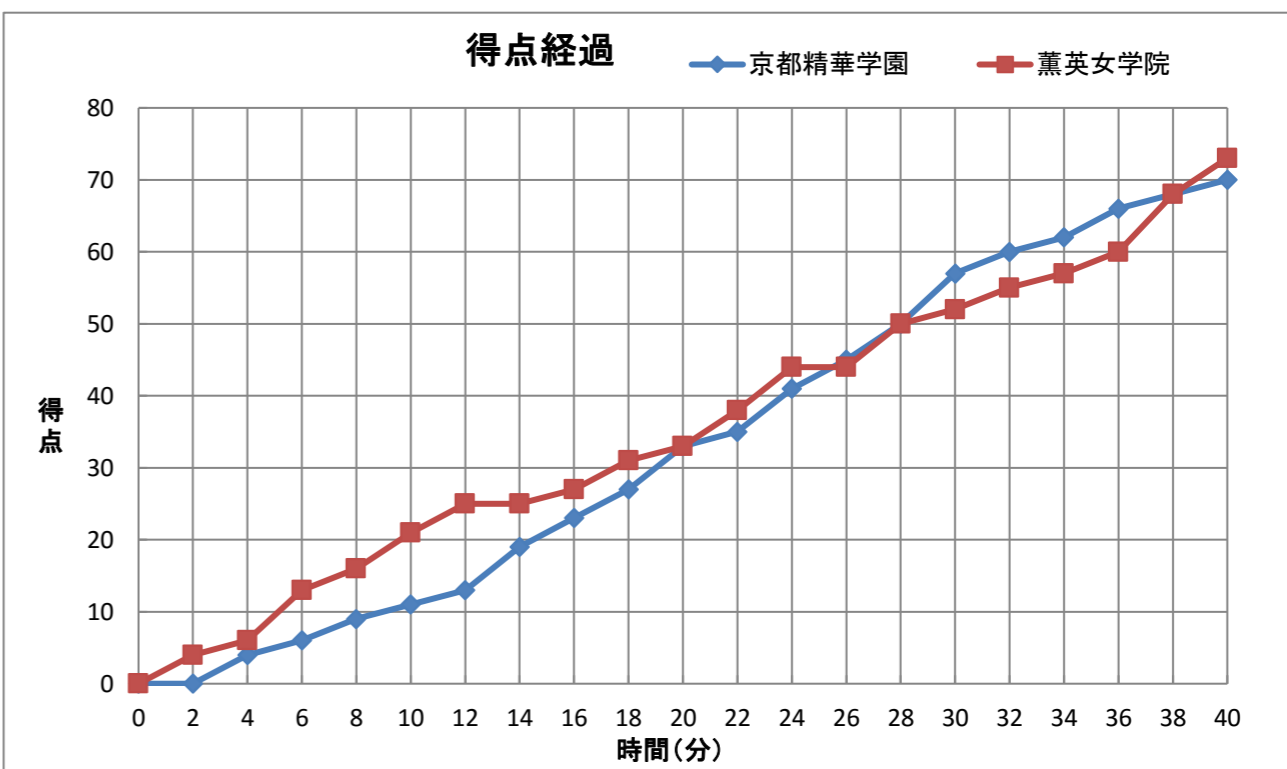




第70回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

女子		令和5年6月25日 12:50 開始														
決勝		ジェイテクトアリーナ奈良 A														
京都精華学園 (京都)	70	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>11</td><td>1st</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>21</td></tr> </table>	11	1st	21	22	2nd	12	24	3rd	19	13	4th	21	73	◎ 薫英女学院 (大阪)
11	1st	21														
22	2nd	12														
24	3rd	19														
13	4th	21														
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則			
* 4	堀内 桜花	7	0	3	1	3	* 4	木本 桜子	11	1	3	2	2			
* 5	八木 悠香	12	0	4	4	0	* 5	島袋 栞	22	4	5	0	1			
6	川地 汐夏	4	0	2	0	1	* 6	木本 桃子	18	2	4	4	2			
7	山西 凜愛	-	-	-	-	-	7	吉田 華子	-	-	-	-	-			
8	塚口 珠妃	-	-	-	-	-	* 8	松本 莉緒奈	10	2	2	0	4			
9	石渡 セリーナ	-	-	-	-	-	9	岩井 萌	4	0	1	2	3			
10	高井 星	-	-	-	-	-	10	下崎 好	6	1	1	1	3			
11	雁瀬 梓	-	-	-	-	-	* 11	三輪 美良々	2	0	1	0	4			
12	土屋 あかり	-	-	-	-	-	12	松本 汐音	-	-	-	-	-			
13	松居 かなで	-	-	-	-	-	13	村松 由梨	-	-	-	-	-			
14	林 咲良	2	0	1	0	3	14	富田 涼々野	-	-	-	-	-			
* 15	ディマロ ジェシカ	31	0	13	5	2	15	西澤 楽菜	-	-	-	-	-			
* 16	橋本 芽依	6	0	2	2	2	16	荒木 琉伽	-	-	-	-	-			
* 17	桃井 優	4	0	1	2	4	17	兼田 紬奈	-	-	-	-	-			
18	ユサフ ボランレ アイシャット	4	0	2	0	0	18	黒川 春陽	0	0	0	0	0			
コーチ	山本 綱義						コーチ	安藤 香織								
Aコーチ	中川 瀬名						Aコーチ	長渡 由子								
合計		70	0	28	14	15	合計		73	10	17	9	19			
<p>クルーチーフ: 小松 綾実</p> <p>1stアンパイア: 加藤 加織 2stアンパイア: 柳生 志乃</p>																



TO	1・2Q		3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	6:57	18:59	34:23	37:00	39:27	:	:	:	:
TeamB	15:19	19:53	35:58	39:57	:	:	:	:	:

〔戦評〕
 こまで順調に駒を進めてきた京都精華と大阪薫英、昨年と同カードでの決勝となった。

第1Q
 京都精華はハーフコートマンツーマン、大阪薫英はオールコートマンツーマンでゲーム開始。重たい出だしとなった両チームだが、大阪薫英の#6木本桃のフリースローによる先制点でゲームが動き始める。大阪薫英はその後、#8松本の3P、#4木本桜のドライブインで主導権を握る。対する京都精華は#15ジェシカのインサイドで攻めようとするも、大阪薫英のディフェンスに阻まれる。大阪薫英はその後も得点を重ね、11対21で第1Q終了。

第2Q
 京都精華は#5八木、#6川地、ジェシカを中心に追い上げをみせる。大阪薫英は3Pを放つもなかなか決めることができない。ファウルも重なり、苦しい時間が続くが、#5島袋、木本桃の得点で応戦する。一進一退の攻防が続き、33対33の同点で前半が終了する。

第3Q
 立ち上がり、大阪薫英は島袋の3Pを含む活躍で流れをつかむかと思われたが、京都精華はジェシカのインサイドの得点で、簡単に流れを渡さない。京都精華は#4堀内、ジェシカのバスケットカウントなどで得点を重ね、57対52、京都精華リードで第3Q終了。

第4Q
 両者譲らない攻防が続き、なかなか点差が縮まらない。大阪薫英は残り4分でのタイムアウト後、連続3Pで同点に追いつくと、ディフェンスを起点に逆転に成功する。その後も均衡した試合が続くが、大阪薫英木本桜、木本桃のフリースローが決め手となり、70対73で大阪薫英が勝利した。激しいディフェンスと3Pが光った大阪薫英女学院高等学校が2年連続35回目の優勝を飾った。

戦評: 荒木 真由美 記録: 一条高校